

腹部大動脈瘤の anechoic crescent sign (AC sign)

岡島 年也^{1,2}

腹部大動脈瘤の超音波画像所見の一つに anechoic crescent sign (AC sign) がある¹⁾。AC sign とは、腹部大動脈瘤内に形成された壁在血栓の一部が溶解した結果、超音波画像所見上、同部位が三日月状の無エコー域として描出され、カラードプラ上、血流シグナルが検出されない画像所見の事を AC sign と称している。特に、AC sign は大動脈解離との鑑別に有用な超音波画像所見といわれている²⁾。本画像例では、5時方向に位置する壁在血栓にわずかながら可動性が認められるため、壁在血栓の脆弱性が示唆された (Fig. 1)。このような場合、壁在血栓が末梢塞栓症の塞栓源となる可能性が危惧されるため注意を要する。このように、超音波検査は腹部大動脈瘤の動的な形態を無侵襲に評価でき、CT とは異なる情報が得られる有用な画像検査と考えられる。

利益相反

著者は本論文に関して利益相反はありません。

文 献

- 1) 山本哲也, 岩永史郎. 血管エコーで知っておきたい典型的なサイン 大動脈瘤でみるサイン (マントルサイン, ACサイン). 超音波医学. 2017; 44: 141-7.
- 2) King PS, Cooperberg PL, Madigan SM. The anechoic crescent in abdominal aortic aneurysms: not a sign of dissection. AJR Am J Roentgenol. 1986; 146: 345-8.

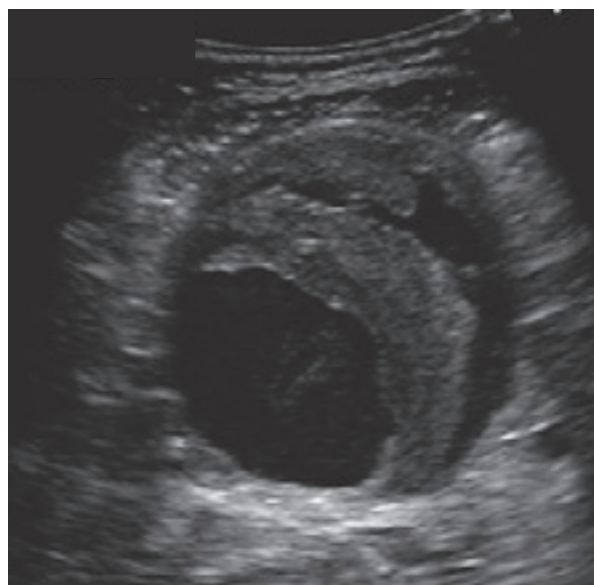


Fig. 1 腹部大動脈瘤の横断面断層像で、動脈瘤は紡錘状を呈し、最大斜短径は 55 mm であった。動脈瘤内の壁在血栓の一部は三日月状の無エコー域を呈し、同部位には血流シグナルを認めず、anechoic crescent sign (AC sign) と診断した。また、5時方向に位置する壁在血栓はわずかに可動性を認めた

The anechoic crescent sign (AC sign) of abdominal aortic aneurysm

Keywords: abdominal aortic aneurysm, mural thrombus, anechoic crescent sign (AC sign), B-mode

¹こだま病院循環器内科, ²協立病院循環器科

Toshiya OKAJIMA

¹Department of Cardiology, Kodama Hospital, 1-3-2 Gotenyama, Takarazuka, Hyogo 665-0841, Japan, ²Department of Cardiology, Kyoritsu Hospital 16-5, Chuocho, Kawanishi, Hyogo 666-0039, Japan

Received on November 30, 2017; Revision accepted on December 19, 2017 J-STAGE. Advanced published. date: February 2, 2018